

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

### 事業名 国際水準GAP認証取得支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部農産園芸通課クリーン農業係 電話番号：058-272-1111 (内 2868)

E-mail： c11423@pref.gifu.lg.jp

#### 1 事業費 800 千円 (前年度予算額：1,000 千円)

##### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,000	500	0	0	0	0	0	0	500
要求額	800	0	0	0	0	0	0	0	800
決定額	800	400	0	0	0	0	0	0	400

#### 2 要求内容

##### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会 (以下、東京オリ・パラという。) は、食材供給を通じて県産農畜水産物の魅力を発信する絶好の機会となることから、これまでは東京オリ・パラへ農産物を供給できるような産地等におけるGAPの認証取得等の取組みを支援してきた。
- ・東京オリ・パラ後も、ぎふ清流 GAP 評価制度でステップアップしたGAP取組の認証を支援する必要がある。
- ・他産地に先がけて、農業者がGAPの第三者認証を受けることで、販売戦略に活かし、取引先として選ばれやすくなるなどメリットがあることから、認証取得を支援することはGAPの定着を図る上で有効である。

##### (2) 事業内容

###### ①国際水準GAP認証取得条件整備支援 (800 千円)

- ・国際水準の「GAP認証を取得する」ために必要な認証審査に要する経費を支援する。

事業実施主体：認証取得を目指す地域のモデルとなる農業者等

##### (3) 県負担・補助率の考え方

①県：1/2 以内

#### (4) 類似事業の有無

GAP チャレンジ推進事業費補助金

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	800	国際水準の「GAP 認証を取得する」ために必要な認証審査に要する経費を助成する。
合計	800	

#### 決定額の考え方

財源については、地方創生推進交付金を充当します。

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創生総合戦略（施策編）

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(1) 地域の魅力の創造・伝承・発信 ④「ぎふブランド」づくり

○ぎふ農業・農村基本計画

2 売れるブランドづくり

(6) 特色ある食の魅力の発信

#### (2) 国・他県の状況

- ・国 2030 年度目標：ほぼ全ての国内産地で国際水準の GAP を実施
- ・平成 30 年度、令和元年度は国交付金対象。令和 2 年度からは対象外。
- ・近隣県は国交付金の対象外となったことから予算要求しない。

#### (3) 後年度の財政負担

- ・総合戦略に GAP 位置づけがある令和 5 年度までは継続が必要。

#### (4) 事業主体及びその妥当性

- ・GAP（農業生産工程管理）は農業者が実践するものであるため、支援を行うことで、県内生産者へ GAP が普及・定着する。

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	国際水準GAP認証取得支援事業費補助金
補助事業者（団体）	農業法人、農業者の組織する団体、農業者等 （理由）GAP（農業生産工程管理）は農業者が実践するものであるため。
補助事業の概要	（目的）「GAP認証を取得する」の推進 （内容）国際水準の「GAP認証を取得する」ために必要な認証審査に要する経費を助成する。
補助率・補助単価等	<b>定額</b> ・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）認証の種類に応じて単価設定（審査費用相当） （理由）前年度と同水準とする
補助効果	県内農業者にGAPの取組みが普及・定着する
終期の設定	終期 令和5年度 （理由）本年度終期を迎えたが、GAPの定着を図る上で、認証取得の支援は不可欠である。

### （事業目標）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">本県農業の核となる担い手（認定農業者、認定新規就農者）が、GAPを実践している。</p>
---

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H29年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
① GAP認証取得等農業者数	5	-	-
② GAPを実践する担い手（経営体）数	41	1,080	1,800

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	0千円	859千円	(予算額) 3,500千円	(予算額) 1,000千円	(要求額) 800千円
指標①目標	-	-	40	- (R2廃止)	-
指標①実績	5	41	85	-	-
指標①達成率	10%	103%	213%	-	(推計値) -%
指標②目標	-	-	360	720	1,080
指標②実績	41	89	239	(推計値) 244※R2.7	(推計値) -
指標②達成率	2%	5%	66%	(推計値) 34%	(推計値) -

(前年度の成果)

- ・ G A P 認証等農業者数の増加 (85→89 経営体等、R2.9 現在)  
うち民間認証 (29→31 経営体等、R2.9 現在)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
  - ・ 認証取得後、毎年、維持審査費用が必要となることから、農業者から支援を求める声がある。

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か) ○ : 必要性が高い     △ : 必要性が低い	
(評価)	○     G A P は、持続可能な開発目標 (S D G s) の達成に向けて農業分野が取り組むべき事柄である
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) ○ : 概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △ : まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	○     東京オリ・パラへの食材供給までのフェーズにおいては、認証取得等農業者の目標とした40経営体を早期に達成した。
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) ○ : 効率化は図られている     △ : 向上の余地がある	
(評価)	○     国交付金要綱に即して適正に処理している。

(事業の見直し検討)

- ・ 交付実績を踏まえ、予算規模を縮小する。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

**継続**・削減・統合・廃止

(理由) 国の目標に呼応し、2030年度までに県内ほぼ全ての産地で国際水準のGAPを実施している状態とするためには支援が必要。